

シラバス詳細

IPE科目														
授業科目名														
カリキュラム2019														
ヒューマンケア論 Principles of Human Care														
No.	時間割番号			開講時期					曜日・時限					
1	100300101			前期					金曜4限					
2	100300102			前期					金曜3限					
3	200300101			前期					金曜4限					
4	200300102			前期					金曜3限					
ナンバリング														
B_IPE1100														
配当年次 および 必須 (○)・選択 (○) の別														
No.	看護	編入	理学	作業		社福 専攻	編入	福祉	行動 専攻	編入	検査 専攻	口腔 専攻	教職	
1	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○	3○	1○	1○		
2	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○	3○	1○	1○		
3	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○		1○	1○		
4	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○		1○	1○		
履修における注意点・履修条件等														
新型コロナウイルス流行の状況によって、オンライン形式、オンデマンド形式、対面形式、分散などに実施形態を変更することがあります。 授業の詳細な予定及び各回の担当教員については、第1回目に説明します。 本科目に関する履修者全体への連絡はwebclassのメールで一斉に行います。見逃さないように注意してください。 第7回をのぞく毎回の授業の終了後にwebclassからリフレクションを提出していただきます。														
科目責任者	鈴木 貴子			単位数・時間数	2単位 30時間			授業形態	講義					
科目担当者	鈴木康美、吉村基宜、瀧田浩平、高村夏輝、須永康代、押野修司、鈴木貴子、上原栄一郎、朝日雅也、佃志津子、兼宗美幸、星野純子、廣田千穂、南拓磨													
科目に関連する実務経験	○		障害者職業カウンセラー、看護師、作業療法士、保健医療福祉関連データ分析担当者											
授業の概要														
ヒューマンケアを考えていく上で、その概念に包含される重要なテーマとして以下の3つをあげ、様々な視点からアプローチしたうえで、自分なりのヒューマンケアを模索することにした。														
1. ヒューマンケアの概念が登場した社会的背景と制度的背景の基礎的な知識を得る。														
2. 「生」「病気」「障害」「老い」「死」などを専門とする教員や、ゲストスピーカーの話や具体的な事例を通して、家族を含めた当事者のニーズや心理状態を理解し、援助のあり方を考える。														
3. 「コミュニケーション」の持つ意義や「ケアし・ケアされる自分」を見つめ、保健・医療・福祉サービスの連携の意義と重要性を考える。														
学習のねらい														
ヒューマンケアとは、保健・医療・福祉に関する専門的な働きかけを必要とする人が、その問題を主体的に解決し、より良く生きることを目的とした援助を行う上での共通的な目的概念である。同時に、その目的に向かって行われる働きかけに共通する実践体系ともいえる。														
関連するディプロマポリシー														
対象者の理解・倫理観	客観的・批判的思考			多面的・専門的			連携・統合			国際的・地域				
○														
授業の到達目標及び授業概要														
回	授業の到達目標			授業概要					担当教員		講演者			
1	ヒューマンケア論の講義についてのイメージをつかむ			オリエンテーション ヒューマンケアについて学ぶ					鈴木、吉村、朝日、南		<input type="checkbox"/>			
2	今後のすべての生活において基本となるコミュニケーションについて学び、今後の学生生活や実習に生かすための知識を得る			コミュニケーションについて考える					鈴木、吉村、朝日、南		<input type="checkbox"/>			
3	分け隔てなく「障害」とともに地域で暮らすことの意義を理解する			障害とともに生きるということ					鈴木、吉村、朝日、廣田、南		<input type="checkbox"/>			
4	社会的偏見、ジェンダーフリーについて学ぶ。これらへの社会的支援を知り、自己の振舞いについて振り返る			ダイバーシティについて考える (LGBTQを例に)					鈴木、吉村、朝日、廣田		<input type="checkbox"/>			
5	リプロダクティブ・ライツ、緩和ケアの話題を通し、「生」についてあらためて考える			「生」を見つめる					瀧田、朝日、兼宗、星野		<input type="checkbox"/>			
6	ケアする者の基礎となる生命の倫理、保健医療福祉分			生命倫理、医療倫理を考える					鈴木、吉村、高村、		<input type="checkbox"/>			

	野における倫理の重要性を理解する		南	
7	課題を通して自己を分析して振り返る。課題をピアレビューし、他者の考えを知り、自己と他者への理解を深める	自己を見つめる	鈴木、朝日、廣田	<input type="checkbox"/>
8	他職種連携の具体的実践例を知り、チームで協働することの意義や可能性を知り、理解する	チームについて考える（他職種連携）	鈴木、吉村、朝日	<input type="checkbox"/>
9	意思決定とは何か、意思決定支援の実際について知り、当事者に寄り添う事、当事者の気持ちになって考えるとはどういうことなのか考える	自己決定を支援するとは	鈴木、瀧田、朝日、佃	<input type="checkbox"/>
10	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える「健康」とは	吉村、朝日、南	<input type="checkbox"/>
11	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える看護とは	鈴木、吉村、瀧田、朝日	<input type="checkbox"/>
12	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える福祉とは	吉村、瀧田、朝日	<input type="checkbox"/>
13	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える理学療法とは	鈴木、瀧田、須永、南	<input type="checkbox"/>
14	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える作業療法とは	鈴木、押野、上原、南	<input type="checkbox"/>
15	ヒューマンケアのまとめと振り返り	これまでのまとめと振り返り、自分なりのヒューマンケアについて模索することができる	鈴木、朝日、廣田、南	<input type="checkbox"/>

教科書

特になし。指定しない。

参考書、教材等

必要に応じてその都度紹介します。

評価方法

毎回の講義のリフレクションおよび期末レポートにより評価します。

授業外における学習方法

学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント

ヒューマンケアは、保健・医療・福祉の分野に共通する「援助」の基本的な概念として位置づけています。同時に、ケアする自分についても考えることであります。本学の教育の基盤をなす、ヒューマンケアに積極的にアプローチしてみませんか。

授業における講演者（ゲストスピーカー）の情報

回	講演者氏名	講演の概要	備考

最終更新日：2021/03/31 16:57

印刷

閉じる

シラバス詳細

IPE科目														
授業科目名														
カリキュラム2019														
ヒューマンケア論 Principles of Human Care														
No.	時間割番号			開講時期					曜日・時限					
1	100300101			前期					金曜4限					
2	100300102			前期					金曜3限					
3	200300101			前期					金曜4限					
4	200300102			前期					金曜3限					
ナンバリング														
B_IPE1100														
配当年次 および 必須(○)・選択(○)の別														
No.	看護	編入	理学	作業		社福 専攻	編入	福祉	行動 専攻	編入	検査 専攻	口腔 専攻	教職	
1	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○	3○	1○	1○		
2	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○	3○	1○	1○		
3	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○		1○	1○		
4	1○	3○	1○	1○		1○	3○	1○	1○		1○	1○		
履修における注意点・履修条件等														
新型コロナウイルス流行の状況によって、オンライン形式、オンデマンド形式、対面形式、分散などに実施形態を変更することがあります。 授業の詳細な予定及び各回の担当教員については、第1回目に説明します。 本科目に関する履修者全体への連絡はwebclassのメールで一斉に行います。見逃さないように注意してください。 第7回をのぞく毎回の授業の終了後にwebclassからリフレクションを提出していただきます。														
科目責任者	鈴木 貴子			単位数・時間数	2単位 30時間			授業形態	講義					
科目担当者	鈴木康美、吉村基宜、瀧田浩平、高村夏輝、須永康代、押野修司、鈴木貴子、上原栄一郎、朝日雅也、佃志津子、兼宗美幸、星野純子、廣田千穂、南拓磨													
科目に関連する実務経験	○		障害者職業力カウンセラー、看護師、作業療法士、保健医療福祉関連データ分析担当者											
授業の概要														
ヒューマンケアを考えていく上で、その概念に包含される重要なテーマとして以下の3つをあげ、様々な視点からアプローチしたうえで、自分なりのヒューマンケアを模索することにした。														
1. ヒューマンケアの概念が登場した社会的背景と制度的背景の基礎的な知識を得る。														
2. 「生」「病気」「障害」「老い」「死」などを専門とする教員や、ゲストスピーカーの話や具体的な事例を通して、家族を含めた当事者のニーズや心理状態を理解し、援助のあり方を考える。														
3. 「コミュニケーション」の持つ意義や「ケアし・ケアされる自分」を見つめ、保健・医療・福祉サービスの連携の意義と重要性を考える。														
学習のねらい														
ヒューマンケアとは、保健・医療・福祉に関する専門的な働きかけを必要とする人が、その問題を主体的に解決し、より良く生きることを目的とした援助を行う上での共通的目的概念である。同時に、その目的に向かって行われる働きかけに共通する実践体系ともいえる。														
関連するディプロマポリシー														
対象者の理解・倫理観	客観的・批判的思考			多面的・専門的			連携・統合			国際的・地域				
○														
授業の到達目標及び授業概要														
回	授業の到達目標			授業概要					担当教員		講演者			
1	ヒューマンケア論の講義についてのイメージをつかむ			オリエンテーション ヒューマンケアについて学ぶ					鈴木、吉村、朝日、南		<input type="checkbox"/>			
2	今後のすべての生活において基本となるコミュニケーションについて学び、今後の学生生活や実習に生かすための知識を得る			コミュニケーションについて考える					鈴木、吉村、朝日、南		<input type="checkbox"/>			
3	分け隔てなく「障害」とともに地域で暮らすことの意義を理解する			障害とともに生きるということ					鈴木、吉村、朝日、廣田、南		<input type="checkbox"/>			
4	社会的偏見、ジェンダーフリーについて学ぶ。これらへの社会的支援を知り、自己の振舞いについて振り返る			ダイバーシティについて考える (LGBTQを例に)					鈴木、吉村、朝日、廣田		<input type="checkbox"/>			
5	リプロダクティブ・ライツ、緩和ケアの話題を通し、「生」についてあらためて考える			「生」を見つめる					瀧田、朝日、兼宗、星野		<input type="checkbox"/>			
6	ケアする者の基礎となる生命の倫理、保健医療福祉分			生命倫理、医療倫理を考える					鈴木、吉村、高村、		<input type="checkbox"/>			

	野における倫理の重要性を理解する		南	
7	課題を通して自己を分析して振り返る。課題をピアレビューし、他者の考えを知り、自己と他者への理解を深める	自己を見つめる	鈴木、朝日、廣田	<input type="checkbox"/>
8	他職種連携の具体的実践例を知り、チームで協働することの意義や可能性を知り、理解する	チームについて考える（他職種連携）	鈴木、吉村、朝日	<input type="checkbox"/>
9	意思決定とは何か、意思決定支援の実際について知り、当事者に寄り添う事、当事者の気持ちになって考えるとはどういうことなのか考える	自己決定を支援するとは	鈴木、瀧田、朝日、佃	<input type="checkbox"/>
10	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える「健康」とは	吉村、朝日、南	<input type="checkbox"/>
11	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える看護とは	鈴木、吉村、瀧田、朝日	<input type="checkbox"/>
12	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える福祉とは	吉村、瀧田、朝日	<input type="checkbox"/>
13	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える理学療法とは	鈴木、瀧田、須永、南	<input type="checkbox"/>
14	専門職やその学問領域の意義、使命、保健医療福祉領域に果たす役割について知り、各自の目指す専門性の位置づけや他の専門職の役割と連携について学ぶ	ヒューマンケアの視点から考える作業療法とは	鈴木、押野、上原、南	<input type="checkbox"/>
15	ヒューマンケアのまとめと振り返り	これまでのまとめと振り返り、自分なりのヒューマンケアについて模索することができる	鈴木、朝日、廣田、南	<input type="checkbox"/>

教科書

特になし。指定しない。

参考書、教材等

必要に応じてその都度紹介します。

評価方法

毎回の講義のリフレクションおよび期末レポートにより評価します。

授業外における学習方法

学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント

ヒューマンケアは、保健・医療・福祉の分野に共通する「援助」の基本的な概念として位置づけています。同時に、ケアする自分についても考えることであります。本学の教育の基盤をなす、ヒューマンケアに積極的にアプローチしてみませんか。

授業における講演者（ゲストスピーカー）の情報

回	講演者氏名	講演の概要	備考

最終更新日：2021/03/31 16:57

印刷

閉じる